

金岡新聞

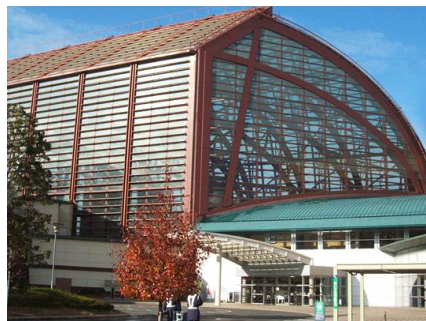
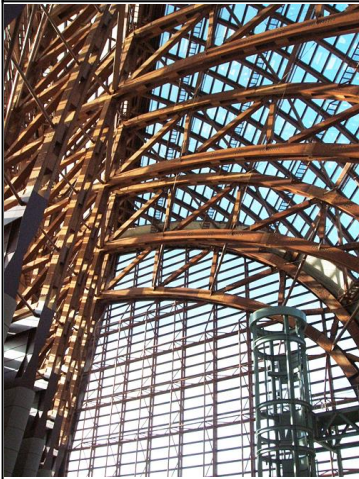
8月号

日本ロマン飛行 ②④

— 倉吉未来中心・鳥取 —

倉吉未来中心は、鳥取県中部地域の活性化の拠点を目指して整備され、コンサートや講演会、各種発表会などさまざまなイベントに利用されている。ホール棟と梨博物館棟を連結するアトリウム棟より構成され、それぞれが独自のデザインとなっている。

中でもシンボルの施設のアトリウム棟は、主要構造部であるトラスが集成材の木構造で、桁と妻面が鉄骨構造で構成された高さ41mのガラス張り吹き抜け空間である。更に平面が平行四辺形であるため鉄骨と木トラスが45度の角度で取り付けられ複雑な形状を成しており、現在ではアトリウム棟の独特な外観は地域のランドマークとして定着した感がある。



国内に例のない大規模な木造とガラスのアトリウム
(室内吹き抜け空間)

山佐産業(株)
瀬戸内プレカット
金岡事業所

岡山市東区金岡東町3-5-70

TEL 086-948-2053

FAX 086-948-0108

8月生まれの有名人

- 8/1 田村正和 72歳
- 8/4 壇 れい 44歳
- 8/5 柴咲コウ 34歳
- 8/8 猫ひろし 38歳
- 8/9 黒柳徹子 82歳
- 8/14 桂 歌丸 79歳
- 8/16 大沢あかね 30歳
- 8/18 中居正広 43歳
- 8/19 前川 清 67歳
- 8/21 高樹沙耶 52歳
- 8/22 北川景子 29歳
- 8/29 八代亜紀 65歳

入ると吹き抜けの広々とした空間が気持ちよく、館内はお土産屋やカフェスペースなどがあり、ゆっくり自分の時間を楽しむことができる。自然光を十分に取り込むことで、温かみあふれる場となっております。2階にはアトリウムに面した観覧席が設けられています。

磯の弾丸『ヒラマサ/平杵』

ヒラマサの名前の由来は定かではないが、平鰯という字が当てられるように鰯(ブリ)より平たいことから。マサは柁目から来ていると言われている。柁目とは、縦に真っ直ぐ通った木目・まっすぐと言う意味があり、平たく真っ直ぐな魚、あるいは、平たい魚で真っ直ぐな黄色の帯を持つ魚である事からの由来ではないかと言われている。

産卵期が春のため、夏、初秋が旬。「ブリ御三家」と呼ばれるのは、ブリ、カンパチとこのヒラマサ。その中でもヒラマサは脂肪分が少なくさっぱりした魚。しかし、独特の風味と歯ごたえがあり、「青背の貴公子」とも言われる。

関西地方では特に好まれ、「ヒラサ」という名でブリやカンパチより高級魚として流通している。見た目はブリそっくり。ブリに比べ、やや細身で頭が小さく体側に黄色い帯が走っている。何よりの特徴は身の締まり。やはり刺身やお寿司でこれを楽しみたい。

ブリやカンパチに比べると脂肪分が少ないと記したが、一般の魚と比べると話は別。脂肪分が多く、DHA・EPAが豊富。生活習慣病を防ぐ不飽和脂肪酸を多く含んでいる。脂肪分は多いが、コレステロールは少なく、究極の健康食品と言っても過言ではない。また、カリウムが非常に多く、高血圧の方には是非食べて頂きたい。ビタミンD、老化を遅らせるビタミンEを多く含んでおり、女性にもお勧めである。

ブリとヒラマサの見分け方



今年の夏はオリンピックですね！

立秋とは名ばかりの猛暑ですね。今年の特別な暑さにはRIO オリンピックの熱も影響あるのでしょうか？

さて、オリンピック・パラリンピック岡山県ゆかりの選手はというと、なんと22名もいらっしゃいました。

OK! AYAMA! OH-OKAYAMA!

地球の裏側で頑張る選手の皆さんの活躍をエネルギーに、私達もこの暑い夏を乗り切りましょう！